

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年3月28日（木）

2 確認箇所

- ・大熊側散水地点、双葉側散水地点
- ・既設多核種除去設備

3 確認項目

- (1) 雨水処理水散水箇所の現況
- (2) 既設多核種除去設備(A)における漏えいへの対応状況

4 確認結果の概要

(1) 雨水処理水散水箇所の現況

構内に降った雨水については、排水基準に適合したことを確認した後、大熊側散水箇所及び双葉側散水箇所に散水されているが、その箇所の現況を確認した。(前回確認：[平成28年10月26・28日](#))

(大熊側散水地点)

- ・当該箇所には、5本のホースにより、雨水が流れ込むようになっていた。
- ・当該箇所は、池のような状況であり、数cmの水が溜まっていた。

(写真1)

(双葉側散水地点)

- ・現場確認時、散水は実施されておらず、また、弁も閉止されていた。

(写真2)



(写真1-1) 南側から撮影



(写真1-2) 北側から撮影



(写真 2 - 1)



(写真 2 - 2) (写真 2 - 1) の弁の部分
を拡大

(2) 既設多核種除去設備(A)吸着塔 1 1 A ドレンライン閉止キャップか
らの漏えいへの対応状況

本日、11時9分頃に既設多核種除去設備(A)において漏えい警報が
発報し、また、11時22分に協力企業作業員が漏えいを発見したこと
から、現場の状況を確認した。

- ・漏えいした水は堰内にとどまっていた。
- ・現場では、東京電力社員及び協力企業作業員により、拭き取り作業
等が実施されていた。(写真3)



(写真 3)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。